

## チームはるか（広島文教女子大学）

## ◎チーム紹介

「チームはるか」は、広島文教女子大学の2名からなるチームです。  
 活動内容は問わず、様々な取り組みを通して、子どもたちと共に楽しみたいと思っています。  
 子どもたちの喜ぶ姿や楽しそうな姿を見たい、そんな思いから始めました。  
 まだまだ、未熟なところも多いですが、子どもたちと共に成長していきたいです。

## ◎活動の様子

活動教室：小屋浦放課後子ども教室（坂町）

日 時：平成24年8月22日（水）10：00～12：00

場 所：小屋浦ふれあいセンター

参加人数：2名（大学生ボランティア）、15名（子ども）



写真のフレーム作りをしました。

まず、写真のフレームを飾る貝殻を近くの海岸に拾いに行きました。学生がクイズを出しながら、案内してくれたのでとても楽しい海岸までの往復でした。子どもたちは「きれいな貝殻があったよ」「この貝殻を使いたい」とフレームづくりに意欲を持っていました。



フレーム作りです。

飾りは、拾ってきた貝殻や、折り紙を星や熊などに切り抜いたもの、リボンテープ、小さなぼんぼん、色画用紙などでした。みんな思い思いの飾りをダンボールのフレームにボンドで付けていきました。貝殻を付けるのは、難しそうでしたが友だち同士で「こうしたらいいよ」と教え合っていました。学生がそれぞれのテーブルを回り、「じょうずだね」「きれいにできたね」と声をかけてもらい、子どもたちはうれしそうでした。

## ◎大学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 今回の活動は、子どもたちが楽しんでくれたので満足です。
- ・ 初めは不安でしたが、時間内に活動を終えることができ良かったです。
- ・ 今回の活動で、自分たちに足りなかったところがよくわかったので、次からはそれを反省して、もっとよりよくしようと思います。
- ・ これからも、子どもたちが喜ぶ顔や打ち込むいきいきした顔を見たいです。

## ◎市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 子どもたちの親近感があり、活動内容も子どもたちのことを考えて、一生懸命アイデアを出していて、子どもたちとの「ふれあい」が感じられた活動でした。
- ・ 海岸へ貝殻を拾いへ行ったのですが、子どもたちにとってはいつもの道も、学生が「なぞなぞ」をしてくれたので、いつもとまた違った道になったと思います。
- ・ 子どもたちが喜んでいたので、今後も受入れを希望したいと思います。